



TURBOSYSTEMS

XJive HD Player PRO 操作説明書

ターボシステムズ株式会社

目次

1. はじめに.....	3
1.1. 付属品.....	3
2. 装置仕様.....	4
2.1. 装置概要.....	4
2.2. 装置前面/背面.....	5
3. 初期設定.....	6
3.1. 装置設置.....	6
3.2. 装置起動.....	7
4. XJive HD Player PRO の操作.....	8
4.1. 実行ファイルの用意.....	8
4.2. ファイルのコピーと削除.....	9
4.2.1. Windows からコピーする.....	9
4.2.2. 外付けUSBメモリ/SSD からコピーする.....	10
4.2.3. ファイル削除.....	12
4.3. ファイル再生.....	13
4.4. ザッピング再生機能（.lst ファイル）.....	15
5. XJive HD Player PRO の設定.....	17
5.1. ネットワークの設定.....	18
5.2. Windows ネットワークの設定.....	19

変更履歴

日付	内容
2021/12/14	初版

1. はじめに

本書は、「XJive HD Player PRO」の操作方法について説明しています。

1.1. 付属品

次の付属品がそろっている事を確認してください。

- ※ 「XJive HD Player PRO」本体
- ※ ACアダプタ
- ※ 電源コード（1本）
- ※ テンキー（1個）
- ※ 操作説明書（本紙）
- ※ 保証書

2. 装置仕様

2.1. 装置概要

本装置の仕様は以下の通りです。

型番	MMT03R
映像コーデック	・ MPEG-2 ・ H.264/AVC ・ H.265/HEVC Main/Main10 4:2:0
音声コーデック	・ AAC 16bit 48kHz 1ch/2ch/5.1ch
コンテナ	・ MPEG2 TS (拡張子 .ts) ・ MP4 (拡張子 .mp4) ・ MMT (拡張子 .mmt)
解像度 / フレームレート	1920x1080, 3840x2160 59.94i, 59.94p ※出力は 1080/59.94i のみ対応
映像出力	SDI (1080/59.94i)
音声出力	SDI に重畳
字幕表示	ARIB 字幕表示 /非表示
ストリーミング受信	・ RTP (ProMPEG FEC 10x10 対応) ・ SRT ・ MMT/TLV
LAN	RJ45 Gigabit Ethernet LAN x1
内蔵 SSD サイズ	500GB
筐体サイズ	165mm (幅) x 43mm (高さ) x 190mm (長さ)
電源	90W AC アダプター

※ 仕様を満たす全ての素材の再生を保証するものではありません。

※ 4K 出力には対応していませんが、4K 動画のデコードは可能です。デコードした 4K 動画を 1080/59.94i 出力することは可能です。

2.2. 装置前面/背面

使用するスイッチやポートは以下の図のとおりです。その他の端子は利用しません。

XJIVE HD PLAYER PRO



プレイヤー前面

- 1 電源ボタン
- 2 USB3.0
- 3 USB2.0



プレイヤー背面

- 1 電源入力コネクタ
- 2 LANポート
- 3 USB3.0
- 4 USB2.0
- 5 ケンジントンロック
- 6 SDI出力ポート



ハードウェアは予告なく変更になる可能性があります。



動画素材を保存した外付け USB メモリや SSD は、青色の USB3.0 ポートへ接続してください。また、同時に複数の USB ポートへ外付け USB メモリや SSD を接続しないでください。

3. 初期設定

この章では「XJive HD Player PRO」の初期設定について解説しています。

3.1. 装置設置



「XJive HD Player PRO」を設置します。

1. ACアダプタを接続し、コンセントへ挿します。
2. 「XJive HD Player PRO」とSDIモニタを接続します。
3. 付属のUSBテンキー、あるいはお持ちのUSBキーボードを「XJive HD Player PRO」のUSBポートに接続します。

「XJive HD Player PRO」設置後は、ネットワーク設定、実行ファイルのコピー等を行います。

3.2. 装置起動

装置前面の電源ボタンを押して「XJive HD Player PRO」を起動します。

しばらくすると、メイン画面が表示されます。



画面項目は以下の通りです。

項目	説明
Internal Disk	内蔵 SSD に保存されているファイルが一覧表示されます。ファイルをコピーする方法については「4.2. ファイルのコピーと削除」を参照してください。
External Disk	外付けの USB デバイスに保存されているファイルが一覧表示されます。
Settings	MTU 設定、IP アドレスの設定、Windows ネットワーク (Samba) の設定を行います。「5. XJive HD Player PRO の設定」を参照してください。
Ver	バージョンを表示します。
IPv4	設定されている IPv4 アドレスを表示します。
IPv6	設定されている IPv6 アドレスを表示します。

4. XJive HD Player PRO の操作

この章では「XJive HD Player PRO」の操作方法について解説しています。

4.1. 実行ファイルの用意

「XJive HD Player PRO」は、以下の拡張子のファイルを実行可能です。

拡張子	概要
.lst	.lst ファイルには、ザッピングの設定を記述できます。ザッピングについては「4.4. ザッピング再生機能 (.lst ファイル)」を参照してください。 また、標準で用意されている PLAYLIST.lst に設定を記述した場合は「XJive HD Player PRO」起動後、1 番目の行が自動的に実行されます。
.rtp	MPEG2-TS の RTP あるいは SRT ストリームの受信設定を記述します。 書式は .lst と同じですが、行先頭の rtp を記述する必要はありません。
.mmt	MMT ストリームの受信設定を記述します。 書式は .lst と同じですが、行先頭の mmt を記述する必要はありません。
.ts	MPEG2-TS 動画ファイル
.mp4	MP4 動画ファイル



再生可能なファイルは「XJive HD Player PRO」がサポートしている映像/音声コーデックである必要があります。

4.2. ファイルのコピーと削除

「XJive HD Player PRO」の内蔵 SSD「Internal Disk」へファイルをコピーするには2つの方法があります。

1つは、外付け USB メモリや SSD から「Internal Disk」へコピーする方法です。もう1つは、Windows からネットワーク経由で「Internal Disk」へアクセスし、コピーする方法です。

4.2.1. Windows からコピーする

「5. XJive HD Player PRO の設定」を参照し、「ネットワーク」と「Windows 共有」の設定を完了してください。Windows 共有を有効にすると、同じ LAN の Windows PC から「XJive HD Player PRO」の「Internal Disk」へアクセスできるようになります。

Windows エクスプローラを起動し、エクスプローラの場所ツールバーへ XJive の IP アドレスと共有フォルダ名（初期値: xjive）を指定します。以下は IP アドレスが 192.168.0.10 の例です。

¥¥192.168.0.10¥xjive

アイコンをダブルクリックして共有フォルダへアクセスします。



ユーザ名とパスワードを要求されますので、「USER NAME」（初期値: **XJIVE**）と「PASSWORD」（初期値:**XJIVE**）を入力し、「OK」を押します。

認証に成功すると「XJive HD Player PRO」の「Internal Disk」へアクセスできるようになります。

Windows PC 上に保存されているファイルをコピーしてください。

4.2.2. 外付け USB メモリ/SSD からコピーする

外付け USB メモリやストレージ（SSD）は以下の条件を満たすものを用意してください。

- USB3.0 対応（動画素材.mp4、.ts を外部 USB から直接再生する場合は性能面から必須）
- 単一パーティションテーブルのもの（通常は購入時にはこの状態です）
- ファイルシステム：exFAT もしくは Ext4 でフォーマットしたもの



その他のファイルシステムでも認識は可能ですが性能検証は上記のみです。



USB メモリは通常、単一パーティションテーブル構成になっています。そのままの状態
でフォーマットを実行してください。フォーマット手順は、ご利用の OS のヘルプ等を参
照してください。また、希に単一パーティションではない USB メモリが存在します。そ
のような USB メモリは正常に認識できない場合があります。

「External Disk」にあるフォルダやファイルを「Internal Disk」へコピーするには以下のように操
作します。

「External Disk」の一覧からコピーしたいフォルダまたはファイルを選択し、テンキーの「+」を
押します。


確認メッセージが表示されます。キャンセルするには「BackSpace」キーを押します。



「Enter」キーを押すとコピーが始まります。

XJIVE

↩ back
📁 ts
📁 mp4
📄 bbb_422_4k_HEVC_20Mbps.ts

split-hevc-8bit-25M-4.m...(2/ 6)
 26.99%

Ver. 2.06.00

IPv4: 172.16.83.112

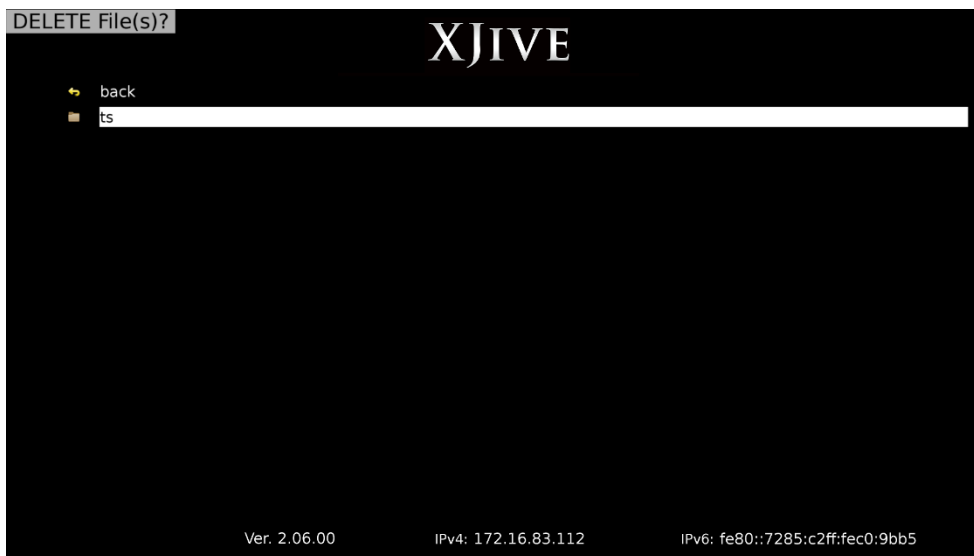
IPv6: fe80::7285:c2ff:fec0:9bb5

4.2.3. ファイル削除

Windows から「Internal Disk」へアクセスし、ファイルを削除、あるいは操作画面からファイルを削除することができます。

操作画面から「Internal Disk」へ保存されているファイルやディレクトリを削除するには、一覧から削除したいフォルダまたはファイルを選択し、「-」キーを押します。

確認メッセージが表示されます。キャンセルするには「BackSpace」キーを押します。



「Enter」キーを押すと削除されます。



「External Disk」にあるフォルダやファイルを削除することはできません。

4.3. ファイル再生

「XJive HD Player PRO」の電源を投入します。メイン画面が表示されます。



操作は付属のテンキーを使用します。



キー	説明
[↑] [↓]	移動
[Enter]	選択

「↑」「↓」キーで「Internal Disk」または「External Disk」を選択し、「Enter」キーを押します。ファイルの一覧が表示されます。



「↑」「↓」キーで実行したいファイルへカーソルを合わせ、「Enter」キーを押します。
再生が始まります。「BackSpace」キーを押すと一覧画面へ戻ります。

RTP/MMT ストリームの再生中は、テンキーで以下の操作が可能です。

キー	説明
「Tab」	サービス ID 表示/非表示
「/」	「/」キーを押す度に以下の表示に切り替わります。 第一字幕表示 → 第二字幕表示 → 文字スーパー表示 → 非表示

4.4. ザッピング再生機能 (.lst ファイル)

拡張子.lst のテキストファイルを用意し、以下の書式で受信設定を記述することで、ザッピング（受信切り替え）機能を利用できます。

.lst ファイルは以下のように記述します。

```
rtp 51216 ff02::1 2045:1111::1 IF=eth0 sid=121
mmt 12345 CC=1
file /data/sample.ts sid=560
rtp 50000 192.168.100.1 SRT=1 LATENCY=300
```

行の先頭には、**rtp**、**mmt**、**file** のいずれかを指定します。

file の場合は、再生するファイルのパスを記述します。「Internal Disk」は /data にマウントされていますので、ファイル名の前には必ず /data/ を記述してください。

rtp、mmt の場合は、スペースに続けてストリームの受信設定を記述します。以下の項目をスペース区切りで順番に記述してください。

- ・ポート番号
- ・マルチキャストグループアドレス
- ・ソースアドレス
- ・インターフェイス

インターフェイスは、マルチキャスト受信のときだけ指定する必要があります。**IF=eth0** と記述してください。

IPv4 ユニキャスト受信の場合は、ポート番号だけを記述します。マルチキャストグループアドレス、ソースアドレス、インターフェイスの指定は必要ありません。

受信設定に続けて以下のオプション設定を指定可能です。

設定項目	説明
SID=123	MPEG2-TS、MMT のサービス ID を指定できます。
CID=1	TLV (MMT) のコンテキスト ID を指定できます。
CC=1	クローズドキャプションの表示を指定できます。 1=第 1 字幕 2=第 2 字幕 9=文字スーパー
SRT=1	SRT プロトコルを使用します。 RTP 受信の場合のみ有効な指定です。

LATENCY=300	SRT が有効の場合のみ指定可能です。 SRT のレイテンシーを設定することが可能です。単位 mSec LATENCY の指定が無い場合のデフォルトは 300mSec です。
PASSPHRASE=	SRT が有効の場合のみ指定可能です。 SRT の暗号化パスフレーズを指定することが可能です。パスフレーズは、送出側と同じ文字列を指定してください。 非暗号化通信では必要ありません。
FEC=1	RTP 受信の場合のみ有効な指定です。 ProMpegFec 10x10 を有効にします。



SRT=1 の場合

- ・ 3 列目に source address(サーバーアドレス)を指定してください。
- ・ LATENCY の指定が無い場合のデフォルトは 300mSec です。
- ・ PASSPHRASE= は非暗号化通信では必要ありません。



FEC=1 の場合

- ・ SMPTE に則り、(ip_port+2)ポートで横のパリティデータ、(ip_port+4)ポートで縦のパリティデータを受信します。
- ・ FEC 計算と共にパケットの到達順を監視し、並び換えを行います。

ザッピング (チャンネル切り替え) 操作

テンキーでザッピング可能です。

キー	説明
「+」 / 「-」	次の行/前の行を実行します。
「1」～「9」 「0」	テンキーを押すことで受信設定を切り替えることができます。 「1」～「9」キーは、1 行目から 9 行目の設定にマッチしています。 「0」は 10 行目の設定を実行します。



標準で用意されている PLAYLIST.lst に設定を記述した場合は、「XJive HD Player PRO」起動後、1 番目の行が自動的に実行されます。

5. XJive HD Player PRO の設定

メイン画面の「Settings」では、ネットワークインターフェイスの設定と Windows ネットワーク (SMB) の設定が可能です。「Settings」画面へ移動するにはパスワードの入力が必要です。

初期設定のパスワードは「**1234**」に設定されています。パスワードを入力し「Enter」キーを押してください。



初期パスワードを変更するには「Settings」画面にログインした状態で「***」を入力します。パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し「Enter」キーを押します。確認のため再入力画面が表示されますので、もう一度、パスワードを入力し「Enter」キーを押します。

パスワード認証に成功すると以下の「Settings」画面が表示されます。

XJIVE

MTU 1500 6000 SMB Enable SMB Disable

V4 address WORKGROUP WORKGROUP

V6 address HOST NAME XJIVE

V4 gateway USER NAME XJIVE

DNS PASSWORD XJIVE

V4 address: 172.16.83.112/22 Disk: 428392/460960MByte (3%use)

V6 address: fe80::7285:c2ff:fec0:9bb5/64 System Ver. 2.06.00

5.1. ネットワークの設定

設定項目は以下の通りです。初期状態では DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得します。

設定項目	説明
MTU	ネットワークインターフェ이스の MTU 値を選択します。 合成 TLV/MMT ストリームを受信するには "6000" を選択する必要があります。
V4 address	IPv4 アドレスを手動で設定する場合に入力します。空白の場合は自動取得です。IPv4 アドレスとサブネットネットマスクを / で区切って入力してください。 例) 192.168.0.1/24 サブネットネットマスクはビット指定です。省略した場合は、自動的に 24 が指定されます。
V6 address	IPv6 アドレスを手動で設定する場合に入力します。空白の場合は自動取得です。IPv6 アドレスとサブネットネットマスクを / で区切って入力してください。サブネットネットマスクはビット指定です。省略した場合は、自動的に 64 が指定されます。
V4 gateway	IPv4 ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
DNS	DNS サーバの IP アドレスを指定します。

設定画面のテンキー操作は次の通りです

	説明
NumLock 無効時	<ul style="list-style-type: none">・「↓」「←」「→」キーで項目選択および項目移動・「1500」「6000」「SMB Enable」「SMB Disable」にカーソルをあわせた状態で「BackSpace」キーを押すとメイン画面へ戻ります。 設定が変更されている場合、変更を保存します。
NumLock 有効時	<ul style="list-style-type: none">・数字キー、「.」キー、「/」キーで IPv4 アドレスを入力します・「BackSpace」キーで入力を削除します ※IPv6 アドレスを入力する場合は、USB キーボードを接続する必要があります。

5.2. Windows ネットワークの設定

設定項目は以下の通りです。

設定項目	説明	初期値
WORKGROUP	Windows ネットワークのワークグループ名を指定します。	WORKGROUP
HOST NAME	NetBIOS 名を指定します。Windows ネットワークにはここで指定した名前が表示されます。	XJIVE
USER NAME	共有フォルダへアクセスするユーザ名を指定します。	XJIVE
PASSWORD	共有フォルダへアクセスするユーザのパスワードを指定します。	XJIVE



入力するには USB キーボードを接続する必要があります。



ターボシステムズ株式会社